

《家庭数》

平成 25 年 12 月発行
静岡市立南部小学校
母親委員：長澤奈々子
山下智美

第 7 ブロック 母親委員会だより NO.2

～聞こう・えがおで・ゆったりと ♪ ～

担当校： 南部小学校
森下小学校
高松中学校

今年も残りわずかとなりました。新しい年に向けて様々な事が動き出していることと思います。
これまでの活動を通し本当に貴重な経験をさせていただきました。
私達の活動が皆様の子育てに少しでも潤いを与えられる事を願い、今後の活動も頑張ります。

活動報告

9月30日(月)	静岡学園中学校高等学校 訪問
10月25日(金)	施設訪問 静岡乳児院
11月14日(木)	公開講座「メンタルトレーニング講座」 講師:大儀見浩介氏
11月16日(土)	市P連大会

母親委員会

委員長 東 良恵 (大里中学校所属)
副委員長 (葵区) 重森 歩美 (竜南小学校所属)
副委員長 (駿河区) 藤本 玲子 (東源台小学校所属)
副委員長 (清水区) 田中 京子 (清水入江小学校所属)



委員会活動方針

- 1.各ブロックでの母親委員の研修会活動及び情報交換
- 2.各ブロック長・副ブロック長・委員長・副委員長間の情報交換
- 3.情報交換を通して、家庭教育のあるべき姿を学びあう
- 4.研修を通して、単位P T Aの母親委員としての望ましいあり方を認識する

～年間活動内容～

- 1.役員会の開催
- 2.「天使からのポエム」選考委員会
- 3.母親委員会全体研修会



静岡乳児院 訪問

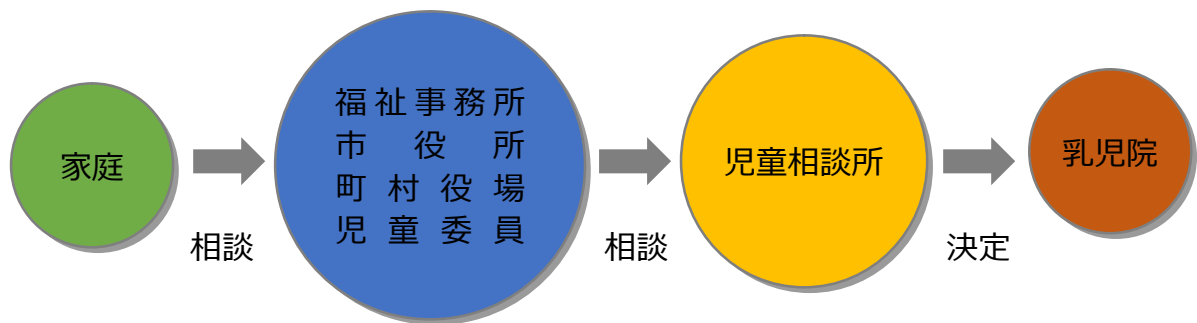
訪問日 平成25年10月25日(金)



乳児院とは

お父さん、お母さんの病気や障害、家族の疾病、経済状況など、様々な理由で家庭で育てる事が困難な乳幼児を、児童福祉法という法律に基づいてお預かりしている“赤ちゃんのおうち”です。地域に開かれた乳児院としての使命を意識し、家庭や地域社会と連携を密にし、心身共に健やかに育つことを願い、子どもと心を通わせ24時間体制で昼も夜も心をこめてお世話をしています。

乳児院に入るには...



現在入所理由のベスト

- ① 母の病気（うつ病、精神病）
- ② 虐待、ネグレスト
- ③ DV

1日の流れ

6:00	起床	14:30	おやつ
7:00	朝食	17:00	夕食
9:30	遊び	18:00	入浴
11:30	昼食	19:30	就寝
	午睡		

心に傷を負っている子どもが多いです。夜泣きが多かったり、抱っこをした時のけぞる子がたくさんいます。

抱っこをされたことがないため抱っこの仕方を知らないという事です。

自分のおもちゃを決め、退所の時もそのおもちゃを持っていきますし、洋服も自分のマークがありその洋服を着ます。

お母さんの代わりである保母さんも1対1対応を心がけ行っており、『当たり前の生活』をする様にしています。

普通の家では食事の後にお風呂が多いので、施設もそのようにしました。

施設の中にいると雨の日に傘のさし方も知らず長靴の存在も知らないため、雨の日に外へ連れ出し雨の中を歩いたりします。子どもたちには、静岡乳児院で良かったな！！と思ってもらえるように大切に育てています。

みなさんには少しでも関心を持ってもらえればと思います。

公開講座

『メンタルトレーニング講座』

11月14日（木）於静岡市民文化会館 大会議室

昨年、会場の定員の都合により応募者多数の為、お断りをさせて頂いた方やご都合が合わずに参加出来なかった方に、ぜひ聴いて頂きたいと思い昨年に引き続き大儀見浩氏をお招きしメンタルトレーニング講座を開催致しました。当日は、180名の方が参加されました。



大儀見氏は、静岡県出身で、中学・高校時代はサッカー選手として活躍されておりました。東海大学で応用スポーツ心理学を学び、現在はスポーツだけではなく教育・受験対策・ビジネス・社員研修等様々な分野でメンタルトレーニングを指導しており、メンタルトレーニングを広める会社「メンタリスタ」の代表を務め、奥様は、サッカー女子日本代表の大儀見(永里)優季選手です。

大儀見氏の軽妙ながら熱いお話が始まると、皆さん一気に引き込まれた様子でした。笑い声が起る和やかな雰囲気の中、メモを取る姿勢は真剣そのもの。参加者の皆さんからは

「大変、興味深い内容でした。ほめて育てる、チャレンジしてみようと思います。」

「『やる気、集中、根気』というのは、子供に求めてしまうものだが『好き、おもしろい、楽しい』という気持ちから導かれているものとお話があり、なるほどなあーと、改めて考えさせられました。」

「普段『ほめて育ててを心掛けていたい』のに、親の目線で、子供に対応していた事に気付かせてもらいました。

『結果より、プロセスをほめる。』心に残る言葉でした。」などのご意見をいただきました。

毎日繰り返す子育ての中では、何かと悪いところに目が行き、何で、親（先生）の気持ちがわからないんだろうと考えがちな私たちですが、子供の立場から考えてみれば、「大人の言っている事の意味が分からないのに、どうしたらいいかわからない。」というのは、本当にその通りだと思います。

・「集中」—たとえば、スポーツでは、「集中しろ」とよく言われるが、子供にとっては、「集中する」とはどういう事なのかかわからないからできない。

・「根性を出せ」も同じで、子供達は「根性を出す」というのがどういう事なのかかわからないからできない。

でも、子供達にとって、その事が楽しくて、好きになれば、自然に、夢中になって集中するし、一生懸命がんばって根性を見せられるわけです。その意味で、大儀見氏は、子供が前向きになって、やるべき事を好きになれるように、大人自身が、子供を「プラス思考」で見接していきましょう。なぜなら、スポーツの世界で成功している選手のほとんどが、失敗や敗北を気にしたり、他の誰かのせいにししたりしないで、「次はどうしたらもっとうまくいくのか」を考えられる（ポジティブ・シンキングの）人達だと、わかりやすく説明してくださいました。

子供自身が、前向きにがんばる自分の事を好きになるように育てる事が、「他者を信頼できるように、他者・共同体に貢献できるようにする」第一歩なのだと思います。

「プラス思考」を心掛けて、子供に接していきましょう。

静岡学園中学校高等学校 訪問

訪問日 平成25年9月30日(月)

東鷹匠町に移転して3年目、街中で交通の便が良く、明るく開放的な静岡学園中学校高等学校を訪問してきました。

“新！静学”



- ◎ 教育理念・・・時代が求める『真のエリート』を育成
- ◎ 中高一貫教育・・・ゆとりを生かして幅広い学びを体験、一人一人の可能性を育てる
- ◎ 全国初の教養科学科・・・他校にはない専門科目
- ◎ SGT(シズガクゴールデンタイム)・・・放課後の7～9時間目に自由参加型の授業

内容は 大学・企業の専門家の講義・講座

陶芸・フラワーアレンジメント・ステンドグラス講座

受験対策のための補習・TOEIC 講座 など

校長先生のお話より

- ① 知らないことばかりの世界⇒いろいろな事を“なぜ？”と考えると知識が深まる。
- ② 思い立ったら行動！⇒調べることが身に付く。
- ③ 子供の様子を見てみよう⇒良い所は、褒めて伸ばす。悪い所は一緒に見直し考える。

① と②を続けると、集中力が身に付きます！！

新！キャンパス記念植樹として校庭には、三本の智恵の木『ニュートンのリンゴの木・メンデルのブドウの木・平瀬作五郎のイチョウの木』がシンボルとして学ぶ生徒の成長を見守っています。



各教室には高性能プロジェクターが設置され、冷暖房完備、全面人工芝の運動場、体育館にトレーニングジム、富士山が望める茶室、ランチタイムだけでなく放課後の学習の場として利用できる静学ホールなど、充実し快適な学習環境が整っています。

